

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 茅ヶ崎市赤松町 新築工事	階数	地上7F
建設地	茅ヶ崎市赤松町3599-14, 21	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	214 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年11月 予定	評価の実施日	2014年8月27日
敷地面積	2,241 m <sup>2</sup>	作成者	(株)長谷工コーポレーション
建築面積	1,073 m <sup>2</sup>	確認日	2014年8月27日
延床面積	4,769 m <sup>2</sup>	確認者	(株)長谷工コーポレーション



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 30%: 60%: 80%: 100%: 100%超:  
 □建設 □修繕・更新・解体 □運用 □オンサイト □オフサイト

参照値 100%  
 建築物の取組み 72%  
 上記+ 以外の 72%  
 上記+ 72%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
緑豊かな敷地沿道の雰囲気作りや、分節型のファサードデザインをすることで地域になじむ温かみのある景観創出に努めた。	0	
<b>Q1 室内環境</b> ・省エネルギー対策等級3相当。 ・住戸には庇(バルコニー)及びカーテンレールを設置。 ・F <sub>0.5</sub> ・VOCの放出が極めて少ない部材を採用	<b>Q2 サービス性能</b> ・共用部維持管理対策等級2、劣化対策等級3取得予定。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・茅ヶ崎市の景観計画に適合した彩色とした。 ・周囲への圧迫感軽減のため、国道からセットバックした住棟配置や住棟の分節化を図った。
<b>LR1 エネルギー</b> 廊下側(廊下側BAL含む)及び妻側のサッシは複層ガラスとする。(空気層6mm)	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・内装の更新性に配慮し、二重天井、二重壁の採用。 ・建築躯体の再利用可能性向上に努めた。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・敷地内の緑化に努め、茅ヶ崎市の緑化基準に適合。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される